

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	環境保全啓発事業補助金		
所管部署	環境部 環境保全課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市環境保全啓発事業補助金交付要項		
交付の目的	特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議が実施する事業への支援を通して市民や事業者等の環境保全活動を促進することにより、良好な環境の保全と地球温暖化対策の推進に資することを目的として交付する。		
補助対象経費	(1)温暖化対策事業(2)啓発イベント開催事業(3)環境講座開講事業(4)中間支援事業(5)その他、本市の環境保全の推進に関して市長が必要と認める事業及び(1)～(5)の事業を遂行するために必要な経費のうち、人件費・印刷製本費・通信運搬費・消耗品費・報償金・委託料のうち会場設営費及び運搬費・使用料・その他市長が認める経費		
補助率・補助額	その他		
交付先	NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議		
開始年度	平成16年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	1,396	1,386	1,268
決算額	1,396	1,386	1,268
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	1,396	1,386	1,268

(件)			
交付実績	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	地球温暖化対策の緊急性・重要性が高まっており、本補助金の交付を通じた施策により、市民や市民団体、事業者が主体的に地球温暖化対策に取り組むことが不可欠であると認められるため、現状のまま継続する。
対応完了・廃止予定時期	